

令和3年度決算の概要をお知らせします

【一般会計】

令和2年度から繰越明許により繰越した10事業の事業費を含んだ令和3年度決算総額は、歳入78億6,127万円、歳出73億4,877万円、前年度に比べ歳入で5.3%、歳出で8.4%ともに減少しました。歳入の主な減少要因は、新型コロナウイルス対策関連補助金が減少したことにより、歳出の主な減少要因は、歳入に係る新型コロナウイルス対策事業経費の減少のほか、令和元年東日本台風災害による復旧工事が完了したことにより、

1. 歳入の状況

自主財源（町税、分担金・負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入）は33億8,202万円、前年度に比べ1億2,669万円増加しました。また、依存財源（地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車税環境性能割交付金、法人事業税交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金、国・県支出金、町債等）は44億7,925万円、前年度に比べ5億6,338万円減少しました。構成比でみると自主財源は43.0%、依存財源は57.0%となっています。

●**町税**は、総額23億8,066万円、前年比4,435万円1.9%増加しました。個人住民税は504万円の減少、法人町民税は1,149万円増加しました。固定資産税は、新増築家屋及び償却資産の増加から2,851万円増加し、軽自動車税は、台数の増加等により239万円増加しました。

●**地方交付税**は、15億9,608万円、前年比3億8,911万円32.2%増加しました。内訳は普通交付税が3億

8,320万円34.3%、特別交付税は590万円6.4%増加しました。

●**分担金・負担金**は、4,269万円、前年比930万円17.9%減少しました。主に、管外保育負担金が908万円減少したことにより、

●**使用料・手数料**は、7,136万円、前年比3,499万円51.1%増加しました。主な要因は博物館入館料、保健体育施設使用料、クラインガルテン使用料の増加です。

●**国庫支出金**は、14億1,800万円、前年比10億8,378万円43.3%減少しました。主な要因は、特別定額給付金給付事業補助金の皆減、コロナ対応地方創生臨時交付金の減少によるものです。

●**県支出金**は、3億8,838万円、前年比1,707万円4.2%減少しました。主な要因は、強い農業・担い手づくり総合支援事業交付金の皆減、農業水路等長寿命化防災減災事業交付金の皆減、農産漁村地域整備交付金の減少です。

●**寄附金**は、4億8,862万円、前年比2億5,637万円110.4%増加しました。主な要因は、ふるさと納税寄附金2億5,569万円の増加です。

2. 歳出の状況

歳出を科目構成比別にみると、民生費32.5%、総務費18.4%、公債費12.9%、土木費8.9%、教育費8.5%、の順となり、前年度の構成比に対して、増加は民生費11.2ポイント、土木費2.4ポイント、公債費2.0ポイント、教育費0.6ポイント、減少は総務費1.1ポイントとなりました。

●**総務費**は、13億5,021万円、前年比14億1,744万円51.2%減少しました。主な要因は、特別定額給付金事業の皆減によるものです。

●**民生費**は、23億8,613万円、前年比6億7,761万円39.7%増加しました。主な要因は、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業、子育て世帯臨時特別給付金給付事業、保育所等整備交付金の増加によるものです。

●**商工費**は、2億3,466万円、前年比6,900万円22.7%減少しました。主な要因は、プレミアム付商品券事業、事業者向けみよたん給付金事業等、新型コロナウイルス対策事業費の減少によるものです。

●**土木費**は、6億5,227万円、前年比1億3,486万円26.1%増加しました。主な要因は町道七口線の繰越明許道路修繕事業経費、道路除雪経費、道路維持管理経費、立地適正化計画策定業務委託料の増加によるものです。

●**災害復旧費**は、3,279万円、前年1億4,327万円81.4%減少しました。主な要因は、令和元年東日本台風災害による復旧工事と令和2年8月豪雨災害による復旧工事が完了したことによるものです。

【特別会計】

歳入合計38億5,594万円、歳出合計36億7,515万円となりました。各会計については特別会計の決算状況をご覧ください。

【企業会計】

経常的な営業に係る収益的収入が536万円、2.6%増加、支出は253万円、1.5%減少となりました。建設工事等に係る資本的収入は、193万円、14.0%増加、資本的支出は、1,347万円、13.9%増加となりました。主な要因は、改良工事費が増加したことによるものです。

問い合わせ先

企画財政課財政係 (32) 3112

健全化判断比率 (単位：%)

【一】数値なし

| 実質赤字比率                              | 連結実質赤字比率                               | 実質公債費比率                           | 将来負担比率                                 |
|-------------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 【一】                                 | 【一】                                    | 【11.6】                            | 【一】                                    |
| 一般会計等の赤字の大きさを御代田町の財政規模に対する割合で表したものの | 特別会計などを含む、全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの | 御代田町の借金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものの | 御代田町が将来負担すべき借金などの大きさを財政規模に対する割合で表したものの |

実質赤字比率、連結実質比率、将来負担比率においては数値なしとなっています。実質公債費比率については、昨年度の12.6%から11.6%に改善しました。一般会計における公債費の増加などから、単年度における比率は1.3ポイント上昇し、3か年平均では1.0ポイントの改善となっています。

また、各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、この基準を超えると健全化に向けた対応が必要となりますが、町は、各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっています。

資金不足比率 (単位：%)

| 特別会計の名称              | 資金不足比率 |
|----------------------|--------|
| 御代田町公共下水道事業特別会計      | —      |
| 御代田町農業集落排水事業特別会計     | —      |
| 御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計 | —      |
| 御代田小沼水道事業会計          | —      |

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化したものです。経営状態の悪化の度合いを示します。町はすべての会計において数値なしのため不足額が生じていないことがわかります。

町債(町の借金)

住民の皆さんに役立つ大きな事業(道路・公共施設等)を実施するときに借りるお金)

令和3年度町債残高(普通会計) 51億7,091万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計＋小沼地区財産管理特別会計

借入先内訳

| 借入先        | 金額         |
|------------|------------|
| 財政融資資金     | 11億5,547万円 |
| 旧郵政公社資金    | 2,213万円    |
| 地方公共団体金融機構 | 4億3,868万円  |
| 市中銀行       | 20億8,265万円 |
| その他金融機関    | 14億7,198万円 |
| 合計         | 51億7,091万円 |

※起債は町が借入したお金ですが、これらの事業は、国から町へ地方交付税が交付される有利な起債事業となります。

令和3年度起債事業(※)

| 事業名             | 起債額       |
|-----------------|-----------|
| 一般単独事業債         | 3,460万円   |
| 公共事業等債          | 6,990万円   |
| 公共施設等適正管理推進事業債  | 3,420万円   |
| 緊急浚渫推進事業債       | 1,250万円   |
| 上水道事業債          | 290万円     |
| 緊急防災・減災事業債      | 370万円     |
| 防災対策事業債         | 3,570万円   |
| 臨時財政対策債         | 3億1,647万円 |
| 農地農林漁業施設災害復旧事業債 | 150万円     |
| 合計              | 5億1,147万円 |

特別会計の決算状況

歳入 38億5,594万円 歳出 36億7,515万円

| 会計名          | 歳入         |            |       | 歳出         |            |       |
|--------------|------------|------------|-------|------------|------------|-------|
|              | 決算額        | 前年度        | 対前年度比 | 決算額        | 前年度        | 対前年度比 |
| 小沼地区財産管理     | 435万円      | 372万円      | 16.9% | 277万円      | 231万円      | 19.9% |
| 住宅新築資金等貸付事業  | 42万円       | 38万円       | 10.5% | 36万円       | 22万円       | 63.6% |
| 御代田財産区       | 1,432万円    | 1,323万円    | 8.2%  | 1,170万円    | 1,149万円    | 1.8%  |
| 国民健康保険事業勘定   | 16億8,849万円 | 16億8,016万円 | 0.5%  | 15億7,332万円 | 15億5,491万円 | 1.2%  |
| 介護保険事業勘定     | 11億3,609万円 | 11億2,710万円 | 0.8%  | 10億8,023万円 | 10億8,368万円 | △0.3% |
| 後期高齢者医療      | 1億7,842万円  | 1億7,579万円  | 1.5%  | 1億7,802万円  | 1億7,525万円  | 1.6%  |
| 公共下水道事業      | 7億9,320万円  | 7億8,887万円  | 0.5%  | 7億8,859万円  | 7億7,957万円  | 1.2%  |
| 農業集落排水事業     | 2,922万円    | 2,891万円    | 1.1%  | 2,875万円    | 2,794万円    | 2.9%  |
| 個別排水処理施設整備事業 | 1,143万円    | 1,247万円    | △8.3% | 1,141万円    | 1,236万円    | △7.7% |
| 合計           | 38億5,594万円 | 38億3,063万円 | 0.7%  | 36億7,515万円 | 36億4,773万円 | 0.8%  |

企業会計の決算状況

| 会計名         | 項目 | 決算額 |           |           |       |
|-------------|----|-----|-----------|-----------|-------|
|             |    | 前年度 | 対前年度比     | 対前年度比     |       |
| 御代田小沼水道事業会計 | 収益 | 収入  | 2億992万円   | 2億456万円   | 2.6%  |
|             |    | 支出  | 1億6,528万円 | 1億6,781万円 | △1.5% |
|             | 資本 | 収入  | 1,573万円   | 1,380万円   | 14.0% |
|             |    | 支出  | 1億1,070万円 | 9,723万円   | 13.9% |